

蘭越町子どもの読書活動推進計画 (第3次)

は じ め に

私たちの生活環境は情報技術の発達により大きく変化し、新聞や書籍、テレビジョンから入手していた情報も、スマートフォンやタブレット端末などから、いつでも、どこでも、瞬時に手に入るようになりました。また、子どもたちの関心や遊びもスマートフォンやタブレットなどを利用した通信ゲームが主流になり、手をこまねていれば、子どもたちは本や読書からどんどん遠ざかって行ってしまう状況にあります。

教育委員会では、平成23年に第1次、平成28年に第2次の「蘭越町子どもの読書活動推進計画」を策定し、子どもたちの身近なところにいつも本がある環境づくりを進め、子どもたちに自主的な読書を促し、あらゆる場面や場所において読書活動を推進してきました。この度、第2次の計画の改定時期を迎えたことから、その成果を引き継ぎ、生活環境の変化に伴う新たな課題を踏まえ、令和2年度から5年間を計画期間とする第3次の子どもの読書活動推進計画を策定いたしました。

改めて言うまでもなく、子どもの読書活動は、子どもたちが言葉を学び、表現力を高め、創造力を豊かにし、なによりも人生を深く生きる力を身につける上で必要不可欠なものであります。蘭越町の未来を担う子どもたちをしっかりと心豊かに育むために、学校、家庭、図書館、関係機関が連携を密にして本計画の着実な推進を図ってまいりたいと考えておりますので、町民の皆様の御支援と御協力をお願いいたします。

終わりに、本計画の策定に当たり、調査と研究、協議を重ねていただきました花一会図書館運営協議会委員の皆様、子ども読書活動アンケート調査に御協力くださいました皆様に、心より感謝とお礼を申し上げます。

令和2年 2月

蘭越町教育委員会

教育長 首 藤 一 幸

令和2年（2020年）2月

目 次

第1 「蘭越町子どもの読書活動推進計画（第3次）」策定の基本的な考え方	
1 計画策定の趣旨	1
2 基本理念	1
3 計画の期間	1
4 計画の対象	1
第2 子どもの読書活動の状況	
1 子どもの読書活動アンケート	2
2 現状と課題	2
（1）子どもの読書活動の現状	2
（2）子どもの読書活動の課題	5
第3 子どもの読書活動推進に向けた取組	
1 家庭に向けた取組	6
2 保育所、幼稚園等における取組	7
3 学校の取組	9
4 図書館の取組	11
第4 計画を進めるにあたって	14
資料編	
1 計画の体系図	15
2 子供の読書活動アンケート調査結果	16
（1）アンケート調査票	16
（2）アンケート調査結果	19
3 蘭越町子どもの読書推進計画策定経緯	29
4 子供の読書活動の推進に関する法律	30

第1 蘭越町子どもの読書活動推進計画（第3次）策定の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

蘭越町教育委員会では、子どもの読書活動の推進に関する法律第9条第2項に基づき、平成23年2月に「蘭越町教育推進計画」の策定と同時に「出会い、ふれあい、楽しむ らんこし子ども読書プロジェクト 蘭越町子どもの読書活動推進計画(第1次)」を策定し、その後、平成28年2月には、「蘭越町教育推進計画(改定)」と同時に「蘭越町子どもの読書活動推進計画(第2次) 読む力は 生きる力」を策定し、蘭越町のすべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的な読書活動を行うことができるよう、その環境づくりを進めてきました。

この計画は、これまでの蘭越町子どもの読書活動推進計画を引き継ぐとともに、令和2年度から5年間を前期計画期間とする「新しい教育推進計画」(令和元年度策定)の個別計画として、子どもの読書活動を総合的・計画的に推進するために策定するものです。

2 基本理念

蘭越町のすべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的な読書活動を行うことができるよう、家庭・地域・学校等が連携し、積極的にその環境整備を図ります。

3 計画の期間

この計画の期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間とします。

なお、この計画期間は、第6次蘭越町総合計画(前期計画)及び新たな教育推進計画(前期計画)と同じ期間です。

4 計画の対象

この計画は、0歳からおおむね18歳を対象とします。

第2 子どもの読書活動の状況

1 子どもの読書活動アンケート

子どもたちの読書実態を把握するため、小学5年生以上の児童・生徒と幼稚園・保育所・小学校の保護者を対象に「読書活動アンケート」を実施しました。

ア 調査時期 令和元年7月1日～7月24日

イ 調査対象

- ・幼稚園、保育所、小学校の保護者
- ・小学校5年生から中学校3年生までの児童・生徒
- ・高校1年生から3年生までの生徒

ウ 配布枚数と回収率

- ・児童・生徒 配布：193枚 回収：177枚 回収率91.7%
- ・保護者 配布：256枚 回収：157枚 回収率61.3%

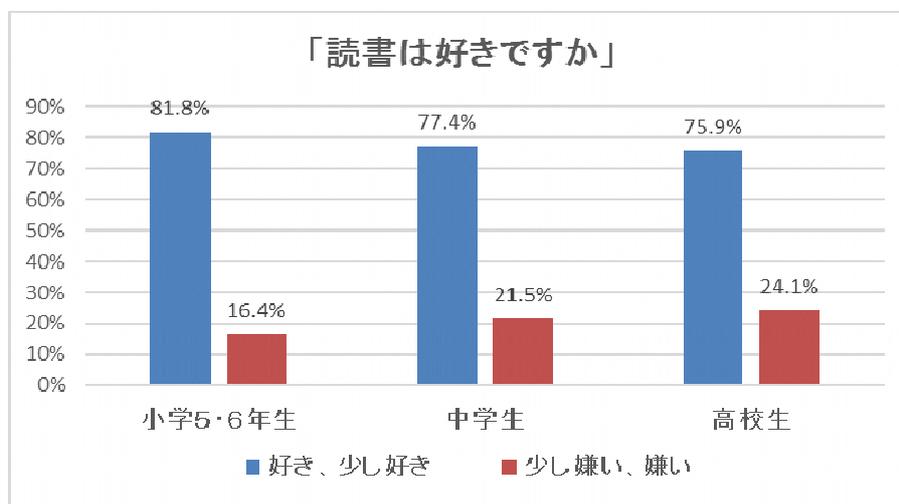
2 現状と課題

(1) 子供の読書活動の現状

アンケート調査の結果からは、主に次のような子供の読書活動の状況がうかがえます。

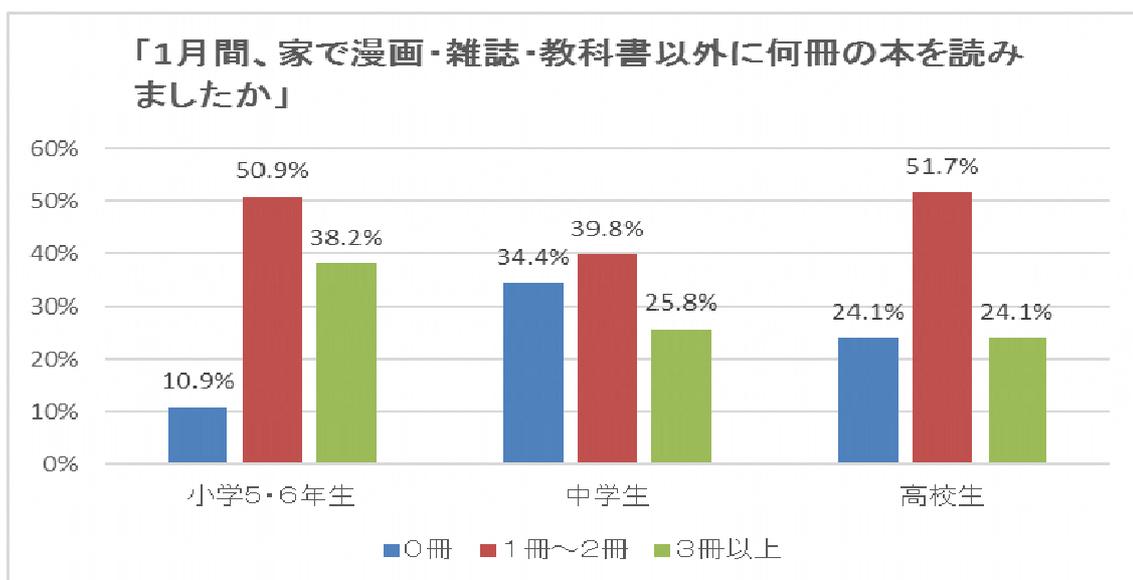
ア 読書の「好き」「嫌い」について

本を読むことが好きか嫌いかについては、小学生、中学生、高校生ともに「読書は好き・少し好き」という回答割合が高く、小学生は8割以上、中学生・高校生は7割以上になっています。



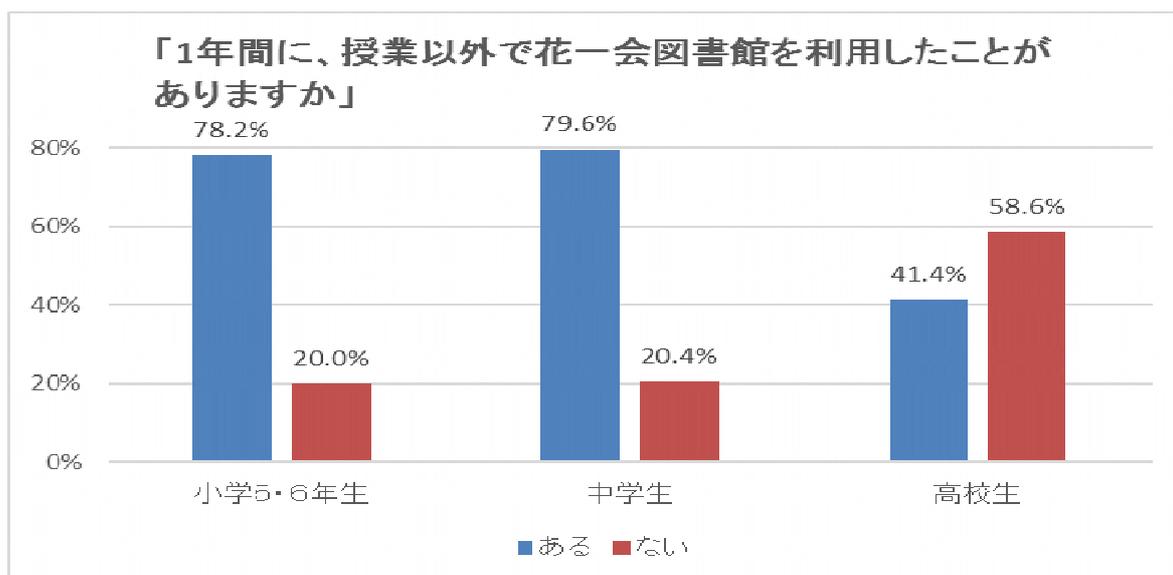
イ 1カ月に読んだ本の冊数について

1カ月に何冊ぐらいの本を読んだかについては、小学生、中学生、高校生ともに「1冊～2冊」という回答割合が高く、小学生と高校生は5割以上、中学生は約4割となっています。一方、1冊も本を読まなかったという回答割合（不読率）は、小学生では1割、中学生では3割以上、高校生では2割以上となっています。



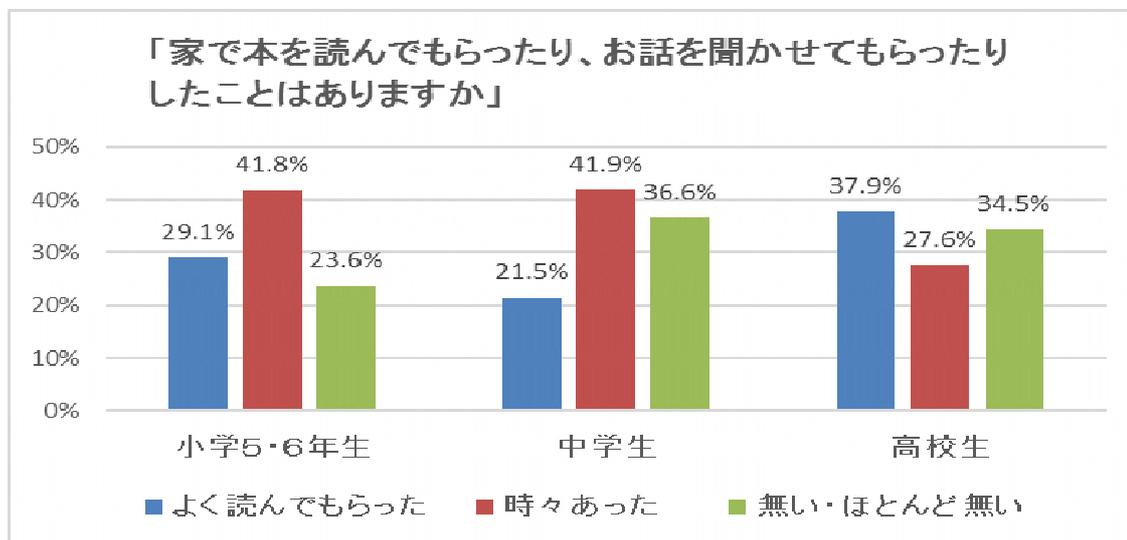
ウ 花一会図書館の利用状況について

「1年間に、授業以外で花一会図書館を利用したことがある」という回答割合は、小学生と中学生は約8割、高校生は4割になっています。

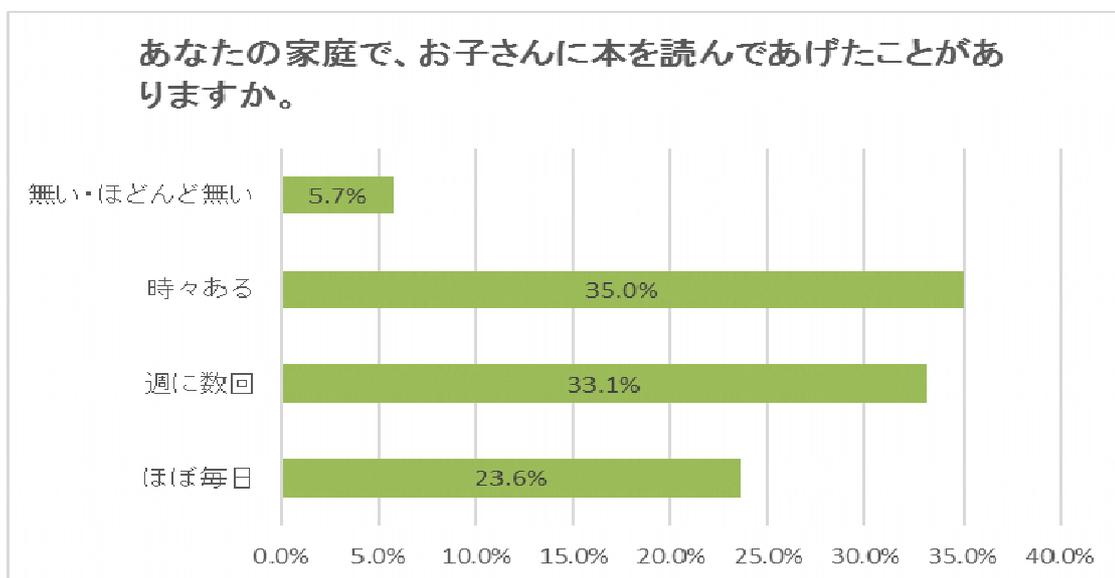


エ 家庭での本の読み聞かせについて

家庭で本を読んでもらった経験があるかについては、小学生は7割、中学生、高校生は6割以上が「よく読んでもらった、時々あった」と回答しています。



また、保護者の5割以上が週に数回以上、本を読んであげた、読んであげているとの回答になっています。



(2) 子どもの読書活動の課題

アンケート調査では、小学生から中学生になると不読率が大きく上昇する傾向がみられますが、成長に伴って読書以外への興味や活動が広がり、相対的に読書活動への関心が低下することや、発達段階において、しっかりとした読書習慣が形成されなかったのではないかと考えられます。このため、成長段階に応じて、読書に興味・関心を引くような取組をさらに充実させ、常に子どもに本との関わりを持たせ、読書をするきっかけを作り続けていく必要があります。

一方、子どもが読書習慣を形成し、生涯にわたって自主的な読書活動を継続していくためには、大人が子どもに本を勧め、読書を促す取組だけではなく、子どもたち自身が同世代との関わりや友人関係などを通じてお互いに本を紹介、勧めあう活動・取組を促していくことが望まれます。

また、子どもたちにおいても、電子書籍を読む機会が急速に増えてきており、スマートフォンやタブレット端末機¹等のデジタル機器を活用した読書活動の取組について、調査研究をする必要があります。



¹ タブレット型端末機：液晶ディスプレイなどの表示部分にタッチパネルを搭載し、指で操作する携帯情報端末機の総称。

第3 子どもの読書活動推進に向けた取組

1 家庭に向けた取組

【現状と課題】

家庭は、子どもが読書と出会う最初場であり、家族が絵本の読み聞かせなどを通して楽しい時間を過ごすことは、生涯にわたる読書習慣を培い、良好な家族関係の育成に繋がることが期待されます。町では、様々な取組を通し、乳幼児が絵本に親しむ多様な機会を作るとともに、家族で読書に親しむきっかけづくりに努めています。

【具体的取組】

① ブックスタート事業²

3、4か月乳幼児健診（すくすく健診）に訪れた乳児と保護者を対象に、「絵本」2冊と「赤ちゃん絵本を楽しむ体験」などが入ったブックスタートパックをプレゼントする事業で、絵本を通じて赤ちゃんといっしょにふれあう時間を持ってもらうことを願い実施しています。今後も、町で生まれた赤ちゃんには必ずブックスタートパックを手渡し、取組を推進していきます。

② 読書ボランティア（おはなしの会「こぐまちゃん」）活動の取組支援

乳幼児期は、周りの大人に絵本を読んでもらいながら楽しさを体験し、次第に言葉を身に付け、自ら絵本を楽しむようになっていきます。

「こぐまちゃん」では、年10回、乳幼児と保護者を対象とした、絵本の読み聞かせ、パネルシアター³、エプロンシアター⁴などによるおはなし会を図書館で実施しており、今後も引き続き「こぐまちゃん」との連携・協働や活動支援を進めていきます。

² ブックスタート事業：絵本を贈り、絵本を介して赤ちゃんといっしょに読書の楽しさを体験し、子育てを支援する活動で、平成4年（1992年）イギリスのバーミンガムで始まり、蘭越町ではこの活動を、平成21年（2009年）から開始しました。

³ パネルシアター：絵本などを題材にして、パネルに登場人物や物を貼りながら、お話をくり広げる読書活動の一つの方法です。

⁴ エプロンシアター：胸当て式のエプロンを舞台に見立てて、人形をエプロンに貼ったり、外したりしながら演じる人形劇です。

2 保育所・幼稚園等における取組

【現状と課題】

乳幼児期に多くの絵本に親しみ物語に出会うことは、子どもの感性や情操など豊かな心を育む上で大変重要です。保育所や幼稚園において、子どもが、絵本の面白さや楽しさを味わいながら「見る力」「聞く力」「話す力」を身に付けられるよう取組を進めています。この幼稚園、保育所の読書活動においては、いつも近く（身近な施設）に本があることが大事であり、さらに、小学校就学後の読書活動に繋がるよう取り進めていく必要があります。

【具体的取組】

① ちっちゃいほんだな事業

町立蘭越保育所、町立昆布保育所、私立ひばり幼稚園の園児が図書館を訪れ、図書館職員にブックトーク⁵や絵本の読み聞かせをしてもらった後、園児一人ひとりが自分で絵本を選び、その選んだ絵本を保育所や幼稚園に持ち帰って施設内文庫⁶（ちっちゃいほんだな）とする取組を、保育所、幼稚園から家庭への持ち帰りを推奨しながら継続して行っています。図書館と保育所、幼稚園が連携して、園児がいつでも絵本に触れ親しむことができる環境を整えとともに、小さい頃から図書館に慣れ親しんでもらえるよう取り進めていきます。

- ・町立蘭越保育所～年長組は毎月図書館を訪れて実施。年中・年少・乳児組は2か月毎に図書館で選書し配本
- ・町立昆布保育所～2か月毎に全園児が図書館を訪れて実施
- ・ひばり幼稚園～全園児が毎月図書館を訪れて実施

⁵ ブックトーク：数冊から十数冊の本をあらかじめ定めたテーマに沿って、関連付けながら紹介する読書活動を進める一つの方法。子どもに対して、自ら本を読んでみようと思わせることを目的としており、単なるあらすじの紹介とは異なる。このため、子どもが興味をもつよう、本の中で紹介されたものを用意したり、作ったりしてバラエティを演出する場合があります。

⁶ 施設内文庫：団体貸出（団体・グループなどを対象とする比較的長期間の貸出）の手法を利用し、学校、保育所、幼稚園、地区施設などにまとまった冊数の本を配本、文庫（閲覧・貸出用の小規模な図書の集積）を設置し、利用に供するものです。

② 子育て支援センター文庫の設置

子育て支援センターに施設内文庫を設置し、2 か月毎に配本の入れ替えを行っていきます。来館する保護者も自由に閲覧でき、幼児がいつでも本に触れることができる環境を整えていきます。

③ 学童保育所文庫の設置と移動図書館⁷

定期的な移動図書館を実施し、お話の会「こぐまちゃん」による読み聞かせ、パネルシアターなど、お話に触れる機会を設けていきます。また、施設内文庫も設置し、毎月配本の入れ替えを行っていきます。

④ 放課後子ども教室移動図書館

定期的な移動図書館と読み聞かせ、ブックトークなどを開催し、読書に親しむ機会を設けていきます。



⁷ 移動図書館：蘭越町には専用の移動図書館車はありませんが、図書館職員が公用車に本を積んで各学校、保健福祉センター、子育て支援センター、保育所、幼稚園などの施設へ出向き、本を展示、貸出、読書案内などを行うものです。

3 学校の取組

【現状と課題】

学校図書館は、子どもたちが読書を楽しみ、読書習慣を身に付ける手助けをする読書センターとしての機能に加え、子どもたちの自発的な学習活動、主体的、対話的で深い学びを助け、本やインターネットなど、さまざまなメディアからの情報を活用して課題解決を図る能力を育成する学習・情報センターとしての役割がその重要度を増しています。

町では、各学校図書館に司書教諭、学校司書を配置できていないことから、図書館司書が学校図書館へ巡回し、司書教諭と学校司書の役割を担い、図書資料や蔵書管理についても、図書館と学校図書館が連携したシステムを構築して、学校図書館の有効な活用に努めています。

【具体的取組】

① 図書館との連携による学校図書館の充実

レイアウトや展示などの工夫を凝らして、魅力的で利用しやすい学校図書館を目指します。また、学習に活用できる図書館として、蔵書を充実させていきます。

② 学校図書館を利活用した学習指導の充実

各学校において、学校図書館教育活動計画や年間指導計画を作成し、計画的な学校図書館の利活用を図書館と連携して進めていきます。

③ みんなの本だな事業

小学校の国語科で、年2回、図書館職員、読書ボランティアによる読み聞かせやブックトークを行い、児童が自分で選んだ本で学級文庫⁸をつくるみんなの本だな事業を継続して実施していきます。

- ・ 昆布小学校：5月全児童で図書館を訪れ、低学年、高学年にわけて実施
11月学校で低学年、高学年に分けて実施
- ・ 蘭越小学校：4月、8月学校で学年毎に実施

⁸ 学級文庫：学級内に設けられた文庫（閲覧・貸出用の小規模な図書の集積）です。

④ 生徒が選ぶ学級文庫

中学校は、年2回生徒自ら選書した本で学級文庫をつくる取組を継続して実施していきます。

- ・6月、学校の玄関ホールに展示した本から一人2冊を選んで学級文庫を設置
- ・10月、小学校のみんなの本だなの中学校版、ひろがる本だな事業を学校で学年毎に行い、生徒自ら選書した本で学級文庫を設置

⑤ 学級文庫の配本入れ替え

小中学校の全学級（特別支援学級含む）に学級文庫を設置し、みんなの本だな事業、生徒が選ぶ学級文庫のほかに年3回、図書館の蔵書から選書し、配本の入れ替えを行っていきます。（年5回）

⑥ 朝読書の実施

各学校において、朝の会前に10分程度の時間を取り、時間を設定して朝の一斉読書活動を継続して実施していきます。



4 図書館の取組

【現状と課題】

乳幼児、小学生、中学生、高校生など、子どもの発達段階に応じた蔵書の充実を図りながら、多彩な子ども向けのイベントを工夫し、子どもが本や図書館に親しむ機会の提供に努めています。また、子どもがあらゆる機会とさまざまな場所で、人と本との出会いから、自主的な読書ができるようになるためには、緊密な家庭、地域、関係機関や団体・グループの連携協力関係が必要であり、図書館は、子どもの読書活動を進める関係ネットワークの中心的な役割を担っています。

【具体的取組】

① 図書館機能の充実

乳幼児・小学生・中学生・高校生、それぞれの発達段階に応じた資料の収集に努めます。また、ストーリーなどを楽しむ読み物系と知的好奇心や情報収集に応える調べ物系の本などバランスのよい蔵書収集を目指します。

② 本や図書館を親しむイベント等の実施

子どもに遊びながら本や図書館の利用の仕方を習得できるような図書館クイズやゲームを実施していきます。

・図書館内で、その本のある場所、問題の答えが書いてある本などを探させる、図書館探偵団と称する図書館クイズを開館時は随時実施します。

・図書館祭（蘭越ブキニスト⁹）等において、図書館内外に隠し置いた図書館についてのクイズを解きながらゴールにたどり着く謎解きゲームなどを実施します。

③ 図書館（絵本）講座の開催

家族が絵本の読み聞かせなどを通して楽しい時間を過ごすことは、生涯にわたる読書習慣を培い、良好な家族関係の育成に繋がることが期待されます。

⁹ 蘭越ブキニスト：ブキニストは、フランス、パリ、セーヌ川沿いの古本市、蘭越ブキニストは、図書館と読書ボランティアの共催による独自の催しで、ミニコンサート、ブックトーク、ビブリオバトル、本と手づくり作品展などを行うものです。

家庭での絵本の読み聞かせのきっかけが生まれるよう、毎年1回、絵本作家等を招いて絵本講座を開催していきます。

④ 絵本室の設置（乳幼児連れ保護者が利用しやすい環境整備）

保護者が子どもに読ませたい本を自由に選択したり、その場で読んであげたり、幼い子ども連れの保護者が気兼ねなく利用できるよう絵本室の環境を整え、幼い頃からの読書習慣の形成を図っていきます。

⑤ 本や図書館に関する情報発信

小学生、中高生を対象に図書館職員おすすめの本を紹介するブックリストを発行し、情報発信に努めます。

⑥ 学校との連携

・ 学校図書館巡回派遣事業の実施

図書館司書が小中学校を巡回し、司書教諭¹⁰の役割を補い、学校司書¹¹の役割を担って学校図書館の管理、運営・利用指導などを行っていきます。

また、各学校の学校図書館教育活動計画や年間指導計画の作成や実施を支援協力し、計画的な学校図書館の利活用を図っていきます。

・ 学校図書館図書センター事業の実施

図書館の図書（蔵書）管理システム¹²に学校図書館も組み入れ、学校図書の選書協力・図書購入、目録作成、蔵書管理まで一元的に行っていきます。

⑦ 保育所・幼稚園等との連携（再掲）

ちっちゃいほんだな事業の実施、施設内文庫の設置

¹⁰ 司書教諭：学校図書館の専門的職務を担うために、教諭のうち司書教諭資格を有する者の中から、学校図書館法により発令されます。¹² 学級以上の学校は必置（¹¹ 学級以下は当分の間設置猶予）です。

¹¹ 学校司書：学校図書館法で定められ、配置は努力義務されていますが、専ら学校図書館の職務に従事する職員です。

¹² 図書（蔵書）管理システム：図書（蔵書）の登録、貸出・返却などの業務を、電算システムを利用して行うものです。

⑧ ボランティアの支援及び連携

図書館、地域、学校、保育所・幼稚園など様々な場所で子どもに読書する楽しさや身近に本のある環境づくりを進めていく上で重要な役割を担っているボランティアとの連携・協働、活動支援を進めていきます。

- ・お話の会「こぐまちゃん」が毎月1回開催する「おはなしひろば」の支援
- ・「本との楽しい出会いを創る会」が主催する絵本講座の支援
- ・「蘭越ブキニスト」の「図書館友の会」との共催
- ・「コパン・コピーヌ」の行う蘭越小学校の朝読書における読み聞かせの支援
- ・ボランティアの研修や交流機会の提供
- ・ボランティア情報の提供



第4 計画を進めるにあたって

この計画を進めるにあたっては、子どもの読書活動に関わる家庭、地域、保育所、幼稚園、学校、児童施設等関係機関が連携し、読書ボランティア団体や町民の参画と協力をもとに計画を進めていく必要があり、図書館がその中心的な役割を担います。特に、小学校、中学校、高等学校と図書館は、読書、情報教育に関する協議や情報交換のため定期的な連絡会議の開催に努めます。

また、計画の進捗を継続的に確認し、調整や見直しをする組織として、花一会図書館運営協議会をその協議のための組織とします。

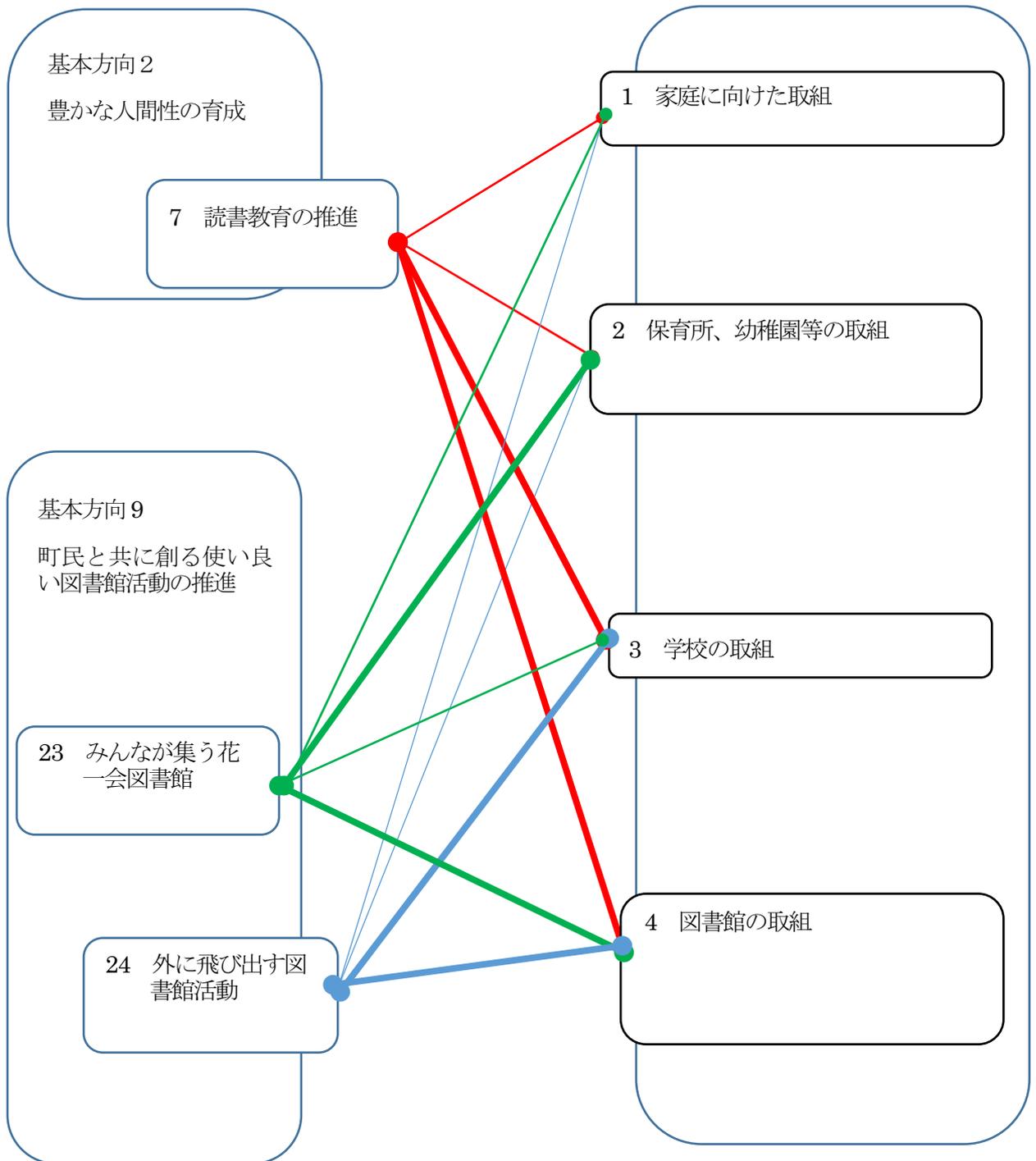


資料編

1 計画の体系図

蘭越町教育推進計画体系図（抜粋）

蘭越町子どもの読書活動推進計画



2 子供の読書活動アンケート調査結果

(1) アンケート調査票

読書活動アンケート（対象：小学5・6年生、中学生、高校生の皆さんへ）

蘭越町教育委員会では、今年、新しい「蘭越町子どもの読書活動推進計画」を作るため、子ども（18歳以下）の読書活動の状況について調べています。読書は、人生をより深く生きる力を身につけていく上で、欠かせないと言われます。このような読書が、楽しく広がる計画を作るために、下記のアンケートにご協力ください。（□にチェックマークしてください。）

1. あなたの性別は？ 男 女

2. あなたの学年は？

小学 5年 6年

中学 1年 2年 3年

高校 1年 2年 3年

3. 読書は好きですか？

好き、少し好き 少し嫌い、嫌い

4. 家で本を読んでもらったり、お話を聞かせてもらったりしたことはありますか？

よく読んでもらった 時々あった 無い・ほとんど無い

5. 1月間に、家で、マンガ・雑誌・教科書以外に何冊本を読みましたか？

0冊 1冊～2冊 3冊以上

0冊と答えた方 理由は？

本を読むのは嫌い

時間が無い（理由は？ 複数回答可）

（ 部活動 勉強 趣味 スマートフォン・携帯 その他（ ）

読みたい本が周りにない、 その他（ ）

6. 1年間に、授業以外で花一会図書館を利用したことはありますか？

ある 無い

無いと答えた方 理由は？（複数回答可）

時間が無い 行く必要が無い 遠い 読みたい本が無い

その他（ ）

7. その他、読書、学校図書館、花一会図書館等について感じていることがありましたら、何でもどうぞ。

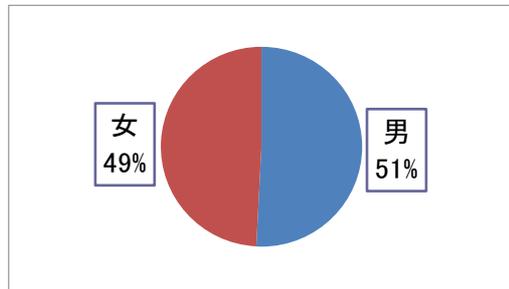
(2) アンケート調査結果

「読書活動アンケート(対象:小学5・6年生、中学生、高校生)」集計表

配布数193通、回答数177通 回収率91.7%

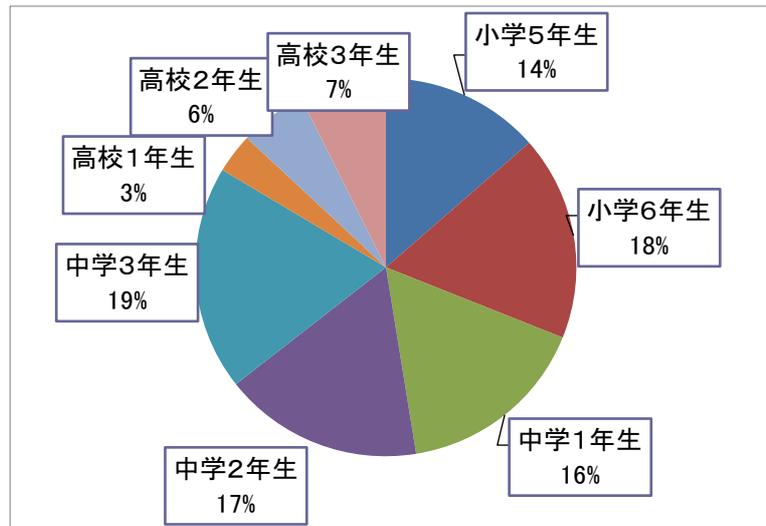
1. あなたの性別は?

	回答数	構成比
男	90人	50.8%
女	87人	49.2%
計	177人	100.0%



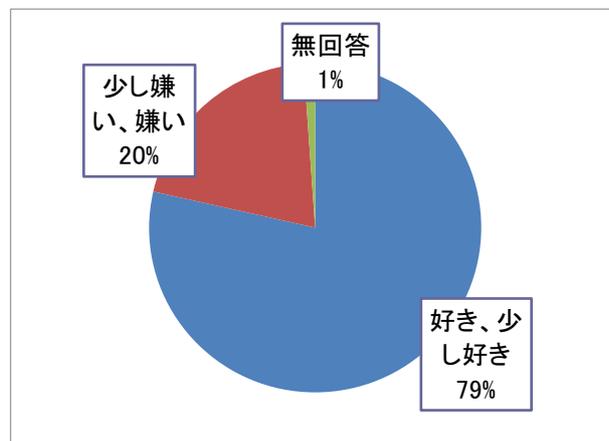
2. あなたの学年は?

	回答数	構成比
小学5年生	24人	13.6%
小学6年生	31人	17.5%
中学1年生	29人	16.4%
中学2年生	30人	16.9%
中学3年生	34人	19.2%
高校1年生	6人	3.4%
高校2年生	10人	5.6%
高校3年生	13人	7.3%
計	177人	100.0%



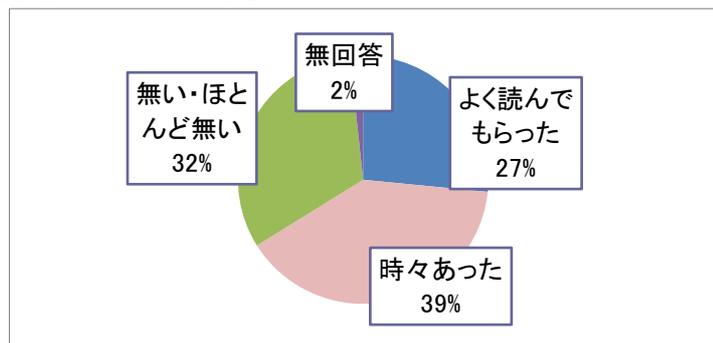
3. 読書は好きですか?

	回答数	構成比
好き、少し好き	139人	78.5%
少し嫌い、嫌い	36人	20.3%
無回答	2人	1.1%
計	177人	100.0%



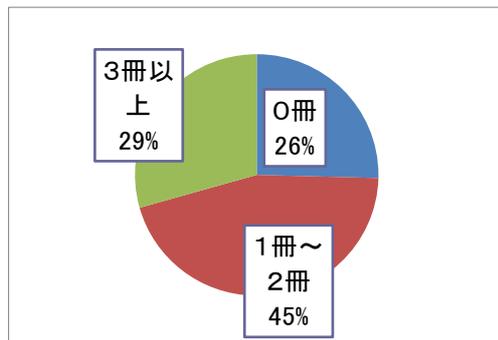
4. 家で本を読んでもらったり、お話を聞かせてもらったりしたことはありますか?

	回答数	構成比
よく読んでもらった	47人	26.6%
時々あった	70人	39.5%
無い・ほとんど無い	57人	32.2%
無回答	3人	1.7%
計	177人	100.0%



5. 1月間に、家で、マンガ・雑誌・教科書以外に何冊本を読みましたか？

	回答数	構成比
0冊	45人	25.4%
1冊～2冊	80人	45.2%
3冊以上	52人	29.4%
計	177人	100.0%



6. 0冊と答えた方 理由は？

	回答数	構成比
本を読むのは嫌い	17人	37.8%
時間が無い	13人	28.9%
読みたい本が周りにない、	11人	24.4%
その他	4人	8.9%
計	45人	100.0%

※その他の理由

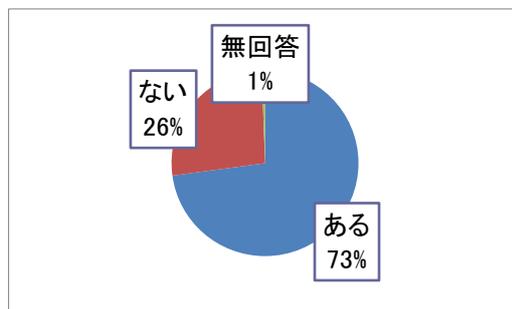
- ・家に本がない。
- ・漫画以外で読書するのは嫌い。
- ・漫画は読んでいる。
- ・漫画を読んでいるから

7. 6で時間がないと答えた方の理由は？

	回答数	構成比
部活動	3人	23.1%
勉強	0人	0.0%
趣味	0人	0.0%
スマートフォン・携帯	1人	7.7%
部活動、勉強、趣味、スマートフォン、その他	6人	46.2%
勉強とスマートフォン	2人	15.4%
無回答	1人	7.7%
計	13人	100.0%

8. 1年間に、授業以外で花一会図書館を利用したことはありますか？

	回答数	構成比
ある	129人	72.9%
ない	47人	26.6%
無回答	1人	0.6%
計	177人	100.0%



9. 8で無いと答えた方の理由は？

	回答数	構成比
時間が無い	13人	27.7%
行く必要がない	11人	23.4%
遠い	5人	10.6%
読みたい本がない	1人	2.1%
行く必要がない、遠い、読みたい本がない	11人	23.4%
その他	6人	12.8%
計	47人	100.0%

※その他の理由

- ・存在をしらない。
- ・蘭越に来たばかりだから
- ・場所を知らない、利用法を知らない。
- ・最近引っ越してきたから
- ・場所がわからなかった。
- ・行こうと思わない。

10. その他、読書、学校図書館、花一会図書館等について感じていることがありますら、何でもどうぞ

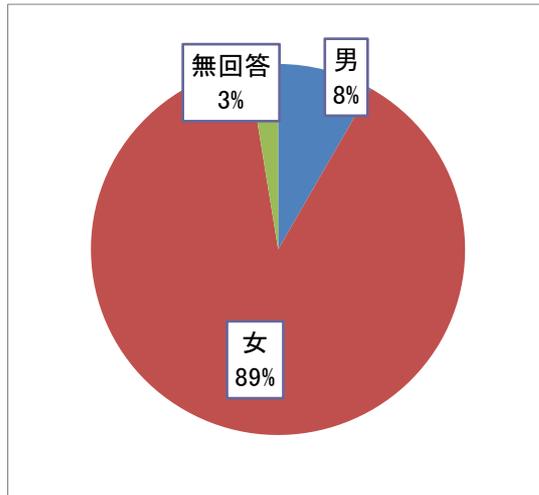
(1)	花一会がとても使いやすく、たくさんの本を読めたり、そこでのイベントがとても楽しいです。
(2)	漫画を増やしたほうがよい。
(3)	もっと本の種類を増やして欲しい。
(4)	映画とかになった本を置いてほしい。
(5)	静かで落ち着く
(6)	沢山の本があって楽しい。
(7)	新しく出た本は、なるべく早く出してほしい。特にシリーズもの。
(8)	漫画と小説を少し増やして欲しい。
(9)	もっと、明るくした方がいい。
(10)	本の数が少ない
(11)	情報が少ないと思うので増やして欲しい。司法、刑法、弁護士についての本がほしい。もう少し、面白い本がほしい。
(12)	借りやすい。
(13)	とても花一会は本が読みやすい場となっていて、お気に入りの場所です。
(14)	もう少し、漫画の種類を増やして欲しい。
(15)	もっと沢山のジャンルや種類の本がほしい。
(16)	利用制限の見直し
(17)	いっぱい本があって、いろんな本を読めて楽しい。
(18)	すごく広くて、本が読みやすくて花一会はいい。
(19)	しおりがいっぱいほしい。
(20)	もっといろんな本が見たいです。私は12歳の漫画が好きなので、それがあったら毎日来たいです。でも、花一会に置いてください。
(21)	私は最近本を読むのが好きになりました。水曜日と金曜日に学校図書館がやっています。その日が一番楽しみになりました。
(22)	できれば、リクエストの本をもう少し早めに届けて欲しい。
(23)	学校図書館の本を増やして欲しい。(シリーズ)
(24)	花一会には、小説もマンガもありとあらゆる本が置いてあって、新しい本もいろいろあるので、いついってもあきません。とても楽しいです。これからもがんばってください。
(25)	種類毎に分けられていて、どこにあるのかわかりやすい。
(26)	勉強に活用できる本がない。教科書などが小学から高校までのが多くあるといい。
(27)	リクエストを定期的に行っているが、2ヶ月くらいでしっかりと本を届けてくれるのがうれしい。必ずリクエストに応じてくれる。
(28)	私は本をよく読むので、花一会図書館によく行きます。静かなので、とても本を読みやすいです。

「読書活動アンケート(対象:保護者)」集計表

配布数256通、回答数157通 回収率61.3%

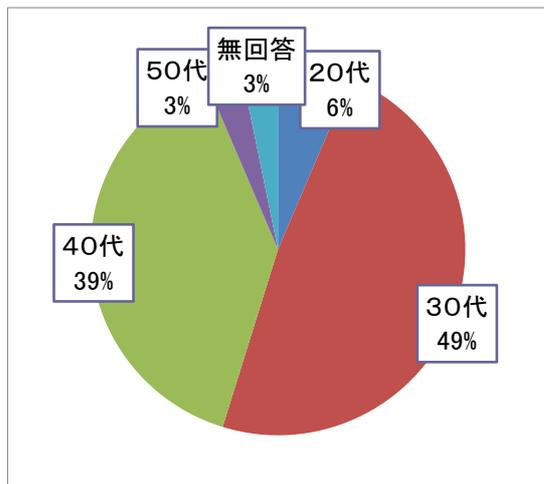
1. あなたの性別は？

	回答数	構成比
(1) 男	13人	8.3%
(2) 女	140人	89.2%
(3) 無回答	4人	2.5%
計	157人	100.0%



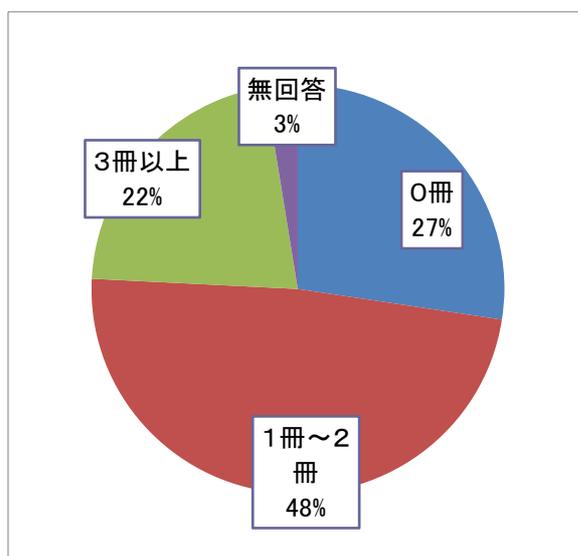
2. あなたの年代は？

	回答数	構成比
(1) 20代	10人	6.4%
(2) 30代	76人	48.4%
(3) 40代	61人	38.9%
(4) 50代	5人	3.2%
(5) 無回答	5人	3.2%
計	157人	100.0%



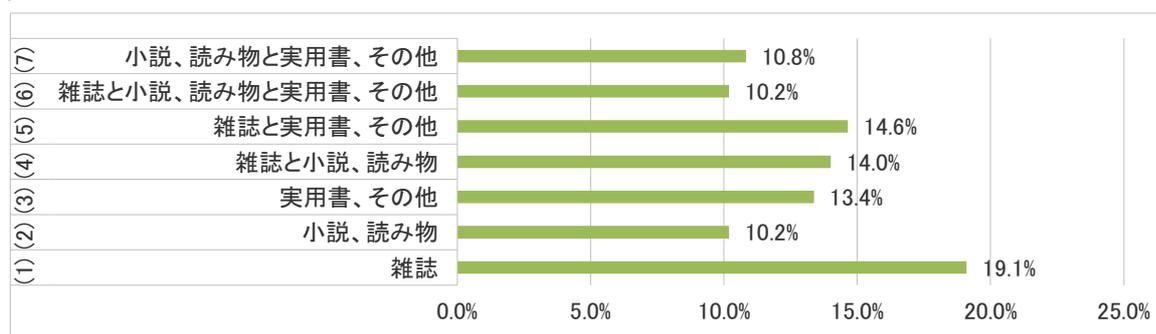
3. あなたは一か月に何冊ぐらい本を読みますか？

	回答数	構成比
(1) 0冊	43人	27.4%
(2) 1冊～2冊	76人	48.4%
(3) 3冊以上	34人	21.7%
(4) 無回答	4人	2.5%
計	157人	100.0%



4. あなたはどんな本を読みますか？

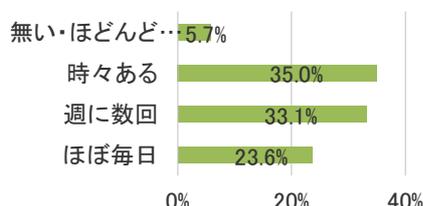
	回答数	構成比
(1) 雑誌	30人	19.1%
(2) 小説、読み物	16人	10.2%
(3) 実用書、その他	21人	13.4%
(4) 雑誌と小説、読み物	22人	14.0%
(5) 雑誌と実用書、その他	23人	14.6%
(6) 雑誌と小説、読み物と実用書、その他	16人	10.2%
(7) 小説、読み物と実用書、その他	17人	10.8%
(8) 無回答	12人	7.6%
計	157人	100.0%



5. あなたの家庭で、お子さんに本を読んでもあげたことはありますか？

	回答数	構成比
(1) ほぼ毎日	37人	23.6%
(2) 週に数回	52人	33.1%
(3) 時々ある	55人	35.0%
(4) 無い・ほとんど無い	9人	5.7%
(5) 無回答	4人	2.5%
計	157人	100.0%

あなたの家庭で、お子さんに本を読んでもあげたことがありますか。



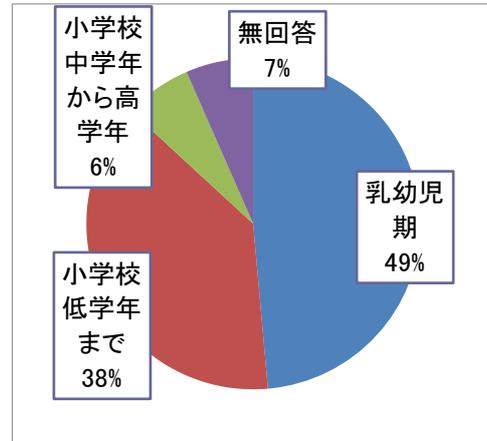
6. 5で「週に数回」、「時々ある」と答えた方 あなたの家で子どもたちと本を読むのはどなたですか？

	回答数	構成比
(1) 母親	44人	41.1%
(2) 父親	4人	3.7%
(3) 両親	5人	27.1%
(4) 両親と祖父母	6人	0.9%
(5) 両親と祖父	7人	0.9%
(6) 両親と兄弟	8人	8.4%
(7) 両親と祖父母と兄弟	9人	2.8%
(8) 母親と兄弟	10人	6.5%
(9) 母親と祖母	11人	2.8%
(10) 母親と祖母と兄弟	12人	1.9%
(11) 母親と祖父母と兄弟	13人	0.9%
(12) その他	14人	1.9%
(13) 無回答	15人	0.9%
計	16人	100.0%

※ (12) その他の理由： (記述2件中1件)
・叔母

7. 5で「週に数回」、「時々ある」と答えた方 何歳ごろまで読んであげましたか？

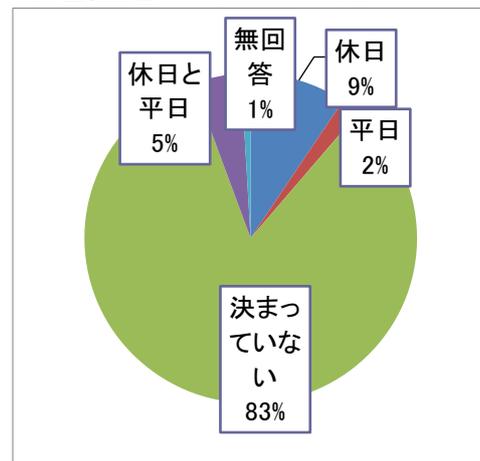
	回答数	構成比
(1) 乳幼児期	52人	48.6%
(2) 小学校低学年まで	41人	38.3%
(3) 小学校中学年から高学年	7人	6.5%
(4) 無回答	7人	6.5%
計	107人	100.0%



P

8. 5で「週に数回」、「時々ある」と答えた方 本を読むのはいつですか？

	回答数	構成比
(1) 休日	10人	9.3%
(2) 平日	2人	1.9%
(3) 決まっていない	89人	83.2%
(4) 休日と平日	5人	4.7%
(5) 無回答	1人	0.9%
計	107人	100.0%



9. 5で、「無い・ほとんど無い」と答えた方 その理由は？

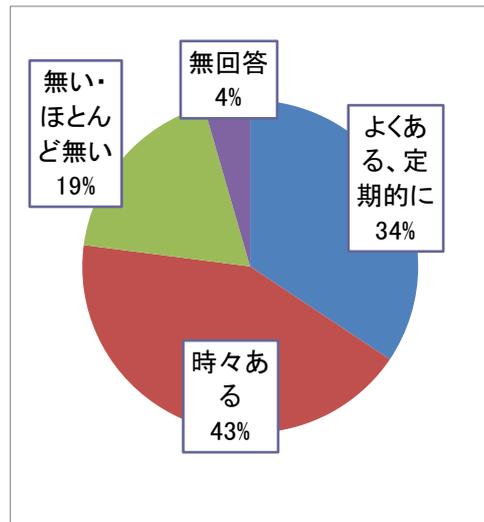
	回答数	構成比
(1) 時間がない	3人	33.3%
(2) 本を読むのが得意でない/時間がない他	1人	11.1%
(3) 子どもが聞いてくれない/時間がない他	1人	11.1%
(4) その他	4人	44.4%
計	9人	100.0%

※ (4) その他の理由:

- ・子どもが大きくなり、自分で好きに時間を過ごしているため。
- ・親が読まなくても自分で読んでいたから。
- ・子どもが大きくなり、自分で読んでいます。なので、読んでとせがまれることがなくなりました。小さいときはほぼ毎晩読んでいました。
- ・自分で読むようになったから。

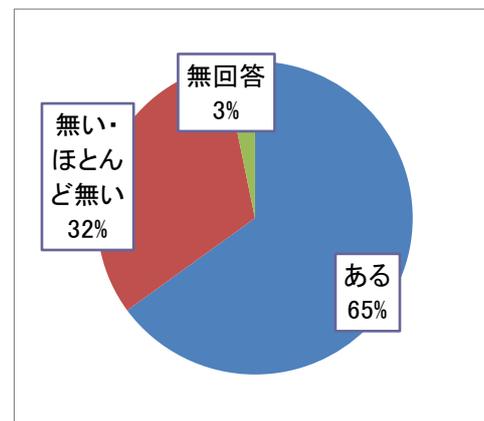
10. あなたが子どものとき、誰かに本を読んでもらったり、お話を聞かせてもらったりしたことはありますか？

	回答数	構成比
(1) よくある、定期的に	54人	34.4%
(2) 時々ある	67人	42.7%
(3) 無い・ほとんど無い	29人	18.5%
(4) 無回答	7人	4.5%
計	157人	100.0%



11. あなたは1年間に、花一会図書館で本を借りたことがありますか？

	回答数	構成比
(1) ある	102人	65.0%
(2) 無い・ほとんど無い	50人	31.8%
(3) 無回答	5人	3.2%
計	157人	100.0%



12. 11で、「無い・ほとんど無い」と答えた方 その理由は？

	回答数	構成比
(1) 時間がない	28人	56.0%
(2) 行く必要がない	7人	14.0%
(3) 遠い	2人	4.0%
(4) 時間がない/遠い	2人	4.0%
(5) 時間がない/行く必要がない	2人	4.0%
(6) その他	8人	16.0%
(7) 無回答	1人	2.0%
計	50人	100.0%

※ (6) その他の理由 (記述8件中7件)

- ・行ったことがないので行きづらい
- ・買ってしまふことがほとんどなので
- ・本にあまり興味がない
- ・買ってしまふので。
- ・ニセコ町在住です。お噂に聞いたことがあります。
- ・本に興味がない。
- ・行ったことがないから。

13. その他、読書、学校図書館、花一会図書館等について感じていることがありましたら何でもどうぞ？

(1)	子どもたちの読み聞かせの機会をもっと増やしてほしい。平日ではなく、保育園に通っている子も参加できる土、日、祝で。又は、保育園でそのようなイベントを平日でもあったら嬉しい。ニセコ町では、あそぶっく祭りや絵本ワールドなどのイベントもあるので、蘭越でも絵本のイベントを増やしてほしい。紙芝居や人形劇などもあると楽しい。できれば日本語だけでなく英語も。
(2)	保育所や小学校に移動図書館が来てくれたりして、子どもたちにとって花一会は楽しみの一つようです。
(3)	小さな町でも、ここまで充実した本の環境はとても素晴らしいと思います。花一会のスタッフの方は、とても本に詳しいし、お勧めを聞いてもすぐに対応くださるのはさすがだなと思います。花一会でのいろんな講演会やイベントも毎回楽しみにしています。
(4)	子供が本に興味を持つ環境になっていて、すばらしいと思っています。返却場所が複数あり、大人も本を借りても不便を感じないと思います。とても満足しています。
(5)	住まいが昆布なので花一会図書館を毎日でも利用したいのですが、遠いのでなかなか行けないのが残念です。これから子育て支援住宅もまた新しく建設されるので、昆布活性化センターなどで月に一度とかでも、移動図書館のような感じであればいいなあと思っています。(年に数回しかありませんが、昆布で行われる子育て支援の時に一緒に来てくれたりすれば嬉しいなあ。) 人員不足など、いろいろな問題で難しいのかもしれませんが、昆布でも気軽に借りられると助かります。返却が幽泉閣でもできるのを最近知りました。うれしいです。これからもよろしくお願いします。
(6)	花一会でいろいろな活動をしていただき学校に行っている様子も学級通信でわかります。すごくよい経験をさせてもらっているなあと感じています。ありがとうございます。
(7)	幼稚園で図書館の本を借りられるのはとても良いと思う。学校や学童で借りた本を、他の施設で返却できるのも助かっている。
(8)	子どもから大人まで楽しめる本が沢山あってうれしいです。
(9)	自分の持っている古本などを引き取って頂けると嬉しいです。(捨てるにはもったいなく、売りにいける所が近隣にないので。)
(10)	新しい本がいつも入荷されていて、いつ行っても読みたい本が見つかります。
(11)	いつも熱心に対応してくださってありがとうございます。調べたいものをすぐに探していただいたり、他の図書館から取り寄せていただいたりして助かっています。
(12)	いつもお世話になっています。
(13)	学校で図書館の本を借りられるのはとても良いと思う。又、返却も学校や図書館以外でできるのもありがたいです。
(14)	いつも子供の手の届くところに本がある環境を作ってくださっている花一会の方々に感謝しております。小学生へ行っている「みんなの本棚」は、本を苦手としている子が読みたいと思える内容であったり、普段読まない人でも「ちょっと読んでみようかな？」と思える図書館になっていたり本と子どもを身近にしてくれていると感じています。子どもたちは、本も花一会も大好きです。これからもよろしくお願いいたします。
(15)	学校、学童保育所等と図書館やボランティアの活動が連携していて、よい町だと感じています。
(16)	私も子供たちも花一会に行くのが大好きです。松原さんを始め、司書の方々の優しい対応がリピートしてしまうところです。

(17)	花一会は行きやすくてとっても良いです。いろんな企画もあって楽しめるものも多い。
(18)	子どもが小さく、家庭で過ごすことが多かった頃は、花一会でたくさんの本と出会い、子どもと多くの時間を過ごささせていただきました。子どもが、それぞれ成長し、それに伴い仕事が急に忙しくなり本を読む時間が無くなりましたが、成長した子ども達はしっかり本好きに成長しています。私もあと10年頑張れば、好きな本達と過ごせる日々がやってくることでしょう。これからも、花一会の活躍を応援しています。
(19)	小学校1年生になった息子が毎日学校の図書室で本を借りています。字はまだ読めないのですが、一生懸命絵を追ってじっくりページをめくる姿は、親としてうれしいものです。私も小学生の頃は公民館で何冊も本を借りて読んでいました。本を読むことが具体的にどのように良いのかよくわかりませんが、単純に「本を好きな子」に育ってもらいたいなあと思っているのです。これからもいろいろな場面で本とふれあえたらなあと思っています。いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。
(20)	暗い、新書がない、購入するほうがよい。蘭越の子どもの場合、図書室・館に置かれている本の内容ではなく、子ども達が本を読む習慣、字を読める・読みたいと思うようになることが必要だと思います。学校授業でも文章の理解力のない子たちが本を読むとは思えないし、授業中の姿勢を注意しない、体がまがって机に向かっていないようでは、とうてい図書利用にはつながらないと思います。まず、教育の改善を。
(21)	遠いのであまり行けないのですが、素敵な図書館だと思います。
(22)	花一会の方が学校にたくさん本を持ってきてくれているので子どもが借りてきた本を家族でまわして読んだりしています。家族みんなで楽しませてもらっています。
(23)	本に触れやすい環境なので、子どもたちが本に興味を持つようになりました。何かポイントカードやスタンプがもらえたら子どもたちは喜ぶかもしれません。
(24)	子育て用の雑誌、いろんな雑誌類を増やしてほしい。図書館をWIFI環境にしてほしい。
(25)	とても親切で、何冊も借りた時には袋まで貸していただいたりと、いつも利用させてもらってます。買うことはできない本をたくさん読んだり、参考にして子どもの宿題に活かしたりと、とても役立っています。絵本も新しい本があるのを楽しみにしています。いつも、ありがとうございます。
(26)	子ども達が本を見たり、読んだり、興味を持てる様々なかかわりをしてくださり感謝しています。また、子どもがリクエストした本をすぐに見つけて貸し出してくださるスムーズなシステムもありがたく思っています。
(27)	学校と花一会が密に繋がっていることで、子どもたちが本に親しみやすくなっていることが嬉しく感じる。
(28)	花一会の活動は、子ども達に本を身近に感じさせる素晴らしい活動をしています。本は生きる上で助けになる為、小さい頃からいつでも本が身近にあることが大切です。今の花一会の活動を維持できるよう町全体で花一会をサポートすることがとても大事だと思います。
(29)	今、いろんなジャンルのものがあるので、漫画コミックがもっとあっても良いと思う。
(30)	推進事業は頑張ってもらいたいですが、時間がなく読書できない。読みたい、読んであげたい気持ちはありますが。
(31)	花一会の読書コーナーに個別ブース的なものがあると周囲を気にせず読書に集中できると感じています。(最近のファミレス等にあるお一人様席のようなもの)
(32)	色々な企画をしていただいている、すてきな図書館だと思ってます。今後ともよろしく願いいたします。
(33)	楽しく利用させてもらっています。

(34)	花一会は他の自治体では見られない素晴らしい活動をしており、花一会の活動によって子どもたちは常に本を身近に感じていると思います。この活動を維持できるような町全体でサポートする体制が整ってほしいと願います。
(35)	花一会は、子連れでも行きやすいので、よく利用させてもらってます。図書館の雰囲気もよく、とても気に入ってます。
(36)	今、いろいろなことがデジタル化していますが、活字を読むことは大切なことだと思います。絵本、小説、雑誌、地図など、やはり画面で見るより活字で見た方が頭に残るんじゃないかと思います。なので、どんな本でも子どもにはたくさん読んでほしいし、私自身も読みたいです。
(37)	自宅からインターネット蔵書検索できるようになり便利になりました。様々な工夫やイベントを常々企画、運営されていて、いつも感心しています。なかなかイベントに参加できませんが、情報発信を楽しく拝見しています。館内に留まらず、移動図書館や子どもたちへの図書、英語活動等も大変ありがたいです。常々、子どもたちの集いの場としても快く提供していただけて助かっています。又、いつも館員さん達の温かい笑顔と丁寧な対応に和まされます。蘭越にこんな図書館があることを誇らしく思います。いつもありがとうございます。
(38)	本はすばらしいです。
(39)	よく利用させてもらっています。とてもよい環境で子ども達も大好きで集中して読書しています。本当に本が好きになってもらいたかったので助かっています。今後も宜しく願います。
(40)	学校で借りた本を、花一会、学校のどちらかで返してもいいのはとてもありがたいです。花一会があって、本を読む機会が多くなりとてもうれしいです。

所 属

	学校・施設名	回答数	構成比
(1)	ひばり幼稚園	18人	11.5%
(2)	蘭越保育所	45人	28.7%
(3)	昆布保育所	11人	7.0%
(4)	ベアーズこども園	5人	3.2%
(5)	蘭越小学校	52人	33.1%
(6)	昆布小学校	25人	15.9%
(7)	無回答	1人	0.6%
	計	157人	100.0%

3 蘭越町子どもの読書推進計画（第3次）策定経緯

第3次蘭越町子どもの読書推進計画は、第1次、第2次の蘭越町子どもの読書活動推進計画の成果、課題を踏まえて策定することから、第1次、第2次の当該計画の進捗管理を担っていた蘭越町花一会図書館運営協議会において協議し、調整を行いました。

(1) 花一会図書館運営協議会委員名簿

任期令和3年3月31日まで

氏 名	選 出 区 分	摘 要
大 磯 俊 一	昆布小学校	校長
山 崎 貴 志	蘭越小学校	校長
廣 澤 信 弘	蘭越中学校	校長
志 比 川 武	蘭越町生涯学習推進委員会	社会教育部会長
奈 良 哲 矢	蘭越高等学校	校長
黒 萩 玲 子	蘭越ひばり幼稚園	園長
渡 辺 美代子	本との楽しい出会いを創る会	代表
林 祐 子	お話し会「こぐまちゃん」	代表
金 子 めぐみ	コパン・コピーヌ	代表
笠 井 三葉留	一般公募者	商工会事務局長

(2) 協議会開催状況

回 数	開 催 日	主 な 内 容
第1回	令和元年 5月22日(金)	計画策定の進め方について 今後の活動等(日程表)について
	7月1日～24日	子どもの読書活動アンケート実施
第2回	12月13日(金)	計画素案の協議、計画案の作成
	12月20日～ 令和2年1月10日	パブリックコメント募集
第3回	令和2年 1月22日(水)	パブリックコメントの整理、取り扱いについて 計画案の作成(最終)

4 子供の読書活動の推進に関する法律

(平成13年12月12日 法律第154号)

(目的)

第1条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第2条 子ども(おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第3条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第4条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第5条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第6条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第7条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子どもの読書活動推進基本計画)

第8条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。
（都道府県子ども読書活動推進計画等）

第9条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

（子ども読書活動の日）

第10条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

（財政上の措置等）

第11条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則

この法律は、公布の日から施行する。